

栃木市保育所整備基本計画

平成25年3月
栃木市

目 次

- 第1章 計画策定にあたって
 - 1 計画策定の目的
 - 2 計画の位置づけ
 - 3 計画の期間

- 第2章 保育の現状
 - 1 保育施設の状況
 - 2 保育サービスの状況
 - 3 0歳児保育の状況
 - 4 特別支援保育の状況
 - 5 保育所別入所者の状況

- 第3章 各地域の状況
 - 1 栃木地域
 - 2 大平地域
 - 3 藤岡地域
 - 4 都賀地域
 - 5 西方地域

- 第4章 課題の整理と保育所整備の基本的な考え方
 - 1 課題の整理
 - 2 保育所整備の基本的な考え方

- 第5章 公立保育所と民間保育所の役割
 - 1 公立保育所の役割
 - 2 民間保育所の役割

- 第6章 保育所整備方針・整備計画
 - 1 整備の方向性
 - 2 目標量の設定
 - 3 保育所整備計画

第1章 計画策定にあたって

1 計画策定の目的

本市は、平成22年3月29日に栃木市、大平町、藤岡町、都賀町が合併し、新生栃木市としてスタートしました。また、平成23年10月1日には西方町と合併し現在に至っています。

合併前の旧市町においてもそれぞれ子育ての環境整備に努めてきましたが、新市として早急に取り組まなければならない課題も多く残されています。

全国と同様に本市においても急速な少子化が進んでいますが、一方で、保育ニーズが増加、多様化しており、働く親の子育て支援策として、安心して預けられる保育所整備に努めていく必要があります。

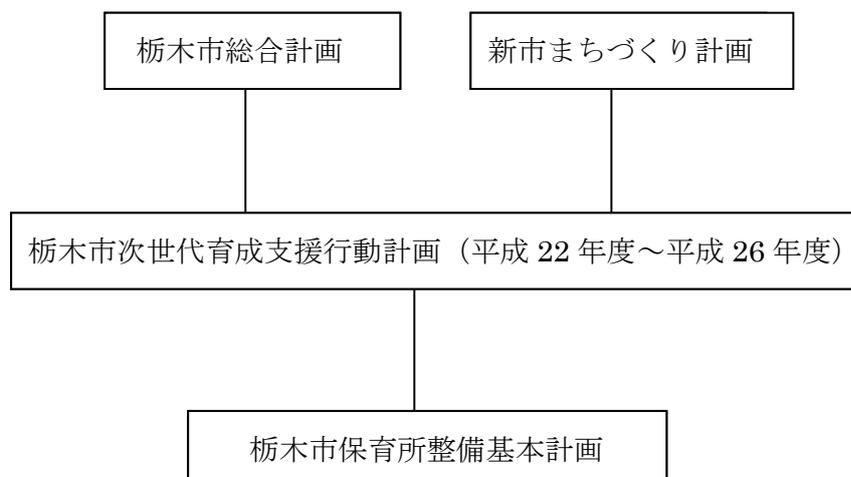
また、施設整備の面では、多くの公立保育所が老朽化しており、合併前後に整備された新しい保育所との差が大きくなっています。更に、東日本大震災など頻発する地震により建物の耐震化にも大きな関心が示されており、一刻も早い、安心安全な保育環境の整備が求められています。

公立保育所の民営化に関しては、合併前の栃木市の事例により多くの課題が明らかになりましたが、現在は、すべての民間保育所が健全に運営されており、また、入所希望者も多いことから、公立保育所と民間保育所の役割の明確化や、民間保育所への市の監督権限の明確化などが必要となっています。

こうした多くの課題や、保育を取り巻く社会環境の変化に迅速かつ的確に対応し、着実な保育所整備を進めるため、「栃木市保育所整備基本計画」を策定します。

2 計画の位置づけ

本計画は、新市の合併市町村計画である「新市まちづくり計画」を踏まえるとともに、今後策定される「栃木市総合計画」との整合を踏まえながら、「栃木市次世代育成支援行動計画（平成22年度～平成26年度）」の保育所関係部分の施策を具現化するための計画として位置づけられます。



【栃木市総合計画基本構想との整合】

1 栃木市の将来像

3) 3つの姿

① 市民生活の姿

栃木市の暮らす人の誰もが、生活のライフステージに応じた、平等なサービスを受することができる環境の実現を目指します。

1 誕生・幼年期

■子育て家庭への支援

すべての子育て家庭が、ゆとりを持ちながら安心して子育てができるよう、経済的負担の軽減を図る手当の支給、子育ての悩み・不安を解消する相談体制の充実、親子同士の交流の場づくりなど、多面的な支援の充実を図ります。

■保育サービスや幼児教育の充実

子どもの保育や教育に対するニーズの多様性を踏まえ、保育園や幼稚園に通わせやすい環境づくりや、認定こども園の設置など保育・幼児教育を提供する場の充実を目指します。

【栃木市総合計画基本計画との整合】

基本方針④ 健康で生きがいを持てるまちづくり

基本施策2 総合的な福祉の構築

単位施策3 子育て環境の充実

市民ニーズに応える子育て支援環境の整備、学童保育事業の推進、保育環境の充実、子育てコストの軽減策の推進等を図ります。

〔単位施策の実現に関する指標〕

指標名	単位	現状値	目標値：H29年度
○学童保育利用者数	人	1,132	1,306
○保育所の定員	人	1,725	1,920

〔主要事業〕

- ◎ 学童保育事業
- ◎ 保育所再整備事業

【栃木市次世代育成支援対策行動計画との整合】

本基本計画 第6章 2 目標値の設定（13ページ）において整理している。

3 計画の期間

本計画の期間は、平成24年度から平成28年度までの5年間とします。

第2章 保育の状況

1 保育施設の状況

平成24年10月1日現在

番号	地域	種別	保育所名	建設年月日	建物		土地	
					構造	面積	所有借地別	面積
1	栃木	公立	いまいずみ保育園	昭和56年 3月14日	鉄骨造平屋建	788.600 m ²	借地	2161.98 m ²
2		公立	いりふね保育園	昭和36年 3月10日	木造モルタル 平屋建	251.654 m ²	市有地	1074.153 m ²
3		公立	おおつか保育園	昭和42年 3月20日	木造モルタル 平屋建	445.980 m ²	借地	3540 m ²
4		公立	はこのもり保育園	平成12年 11月10日	鉄筋コンクリー ト一部鉄骨造 2階建(複合)	1183.780 m ²	市有地	5773.59 m ²
5		公立	そのべ保育園	昭和48年 2月28日	木造平屋建	298.941 m ²	借地	1818.18 m ²
6		公立	ぬまわだ保育園	昭和50年 3月15日	木造平屋建	342.339 m ²	市有地	1159.4 m ²
7		私立	さくら保育園	昭和54年 3月29日	鉄骨造平屋建	614.370 m ²	借地	1619.76 m ²
8		私立	さくら第2保育園	平成8年 3月22日	鉄骨造2階建	577.150 m ²	法人	1128.5 m ²
9		私立	ひがしのもり保育園	平成14年 3月17日	木造平屋建	679.490 m ²	個人	1172.29 m ²
10		私立	けやき保育園	平成18年 11月21日	鉄骨造2階建	1442.500 m ²	個人	3262.3 m ²
11	大平	公立	大平西保育園	平成21年 3月12日	木造2階建	988.850 m ²	市有地	1766.87 m ²
12		公立	大平南第1保育園	平成6年 3月30日	鉄筋コンクリー ト平屋建	374.520 m ²	市有地	2616 m ²
13		公立	大平南第2保育園	昭和52年 3月18日	木造平屋建	338.140 m ²	市有地	1747.95 m ²
14		公立	大平東保育園	昭和49年 3月31日	木造平屋建	323.080 m ²	市有地	1487 m ²
15		私立	大平中央保育園	平成23年 3月15日	木造平屋建	978.79 m ²	法人 ・個人	3381.84 m ²
16		私立	ひかり保育園	昭和57年 2月10日	鉄骨造平屋建	420.890 m ²	法人	1768 m ²
17	藤岡	公立	三鴨保育園	昭和41年 2月	木造モルタル 平屋建	703.64 m ²	市有地	4121.9 m ²
18		公立	赤麻保育園	昭和43年 12月20日	木造モルタル 平屋建	653.37 m ²	市有地	4549.52 m ²
19		公立	部屋保育園	昭和47年 3月20日	木造モルタル 平屋建	569 m ²	市有地 借地	3964 m ² 61.62 m ²
20		公立	藤岡保育園	昭和48年 3月15日	木造モルタル 平屋建	701 m ²	市有地	3503 m ²
21	都賀	公立	都賀よつば保育園	平成13年 4月1日	鉄骨造平屋建	1475.17 m ²	市有地	6305.91 m ²
22	西方	公立	認定西方なかよし こども園	平成12年 3月15日	鉄筋コンクリー ト平屋建	1549.25 m ²	市有地 借地	3793 m ² 3376.58 m ²

2 保育サービスの状況

平成 24 年 10 月 1 日現在

番号	地域	種別	保育所名	定員 1725	開所時間		保育サービスの状況								
					平日	土曜日	月0歳 年齢 (月) 児預 かり	特別 支援 保育	病 後 児 保 育	延 長 保 育	休 日 保 育	夜 間 保 育	24 時 間 保 育	一 時 預 か り	
					開所 閉所	開所 閉所									
1	栃木	公立	いまいずみ保育園	100	7:00 19:00	7:30 17:30	6	●		●					
2		公立	いりふね保育園	45	7:30 18:00			●							
3		公立	おおつか保育園	60	7:30 18:30		6	●							
4		公立	はこのもり保育園	130	7:00 19:00	7:30 17:30	6	●		●					●
5		公立	そのべ保育園	60	7:30 18:00			●							
6		公立	ぬまわだ保育園	60	7:30 18:00			●							
7		私立	さくら保育園	235	7:00 19:00	7:30 17:30	3		●	●	●				
8		私立	さくら第2保育園	40	7:00 19:00	7:30 17:30	3			●					●
9		私立	ひがしのもり保育園	60	7:00 19:00	8:30 12:00	6			●					●
10		私立	けやき保育園	150	7:00 19:00	8:00 16:30	6			●					●
11	大平	公立	大平西保育園	60	7:00 19:00	7:00 17:00	3	●		●					●
12		公立	大平南第1保育園	50	7:00 19:00		3	●		●					
13		公立	大平南第2保育園	35	7:30 18:00		6	●							
14		公立	大平東保育園	40	7:30 18:00		6	●							
15		私立	大平中央保育園	90	7:00 19:00	8:00 17:00	3	●		●					●
16		私立	ひかり保育園	90	7:00 19:00	7:00 19:00	産休 明け	●		●					
17	藤岡	公立	三鴨保育園	45	7:30 18:00		6	●							●
18		公立	赤麻保育園	45	7:30 18:00	8:30 17:00	6	●							
19		公立	部屋保育園	60	7:30 18:00		6	●							
20		公立	藤岡保育園	60	7:00 19:00		6	●		●					
21	都賀	公立	都賀よつば保育園	120	7:00 19:00	8:00 17:00	6	●		●					
22	西方	公立	認定西方なかよし こども園	90	7:00 19:00	7:00 18:00	6	●		●					●

3 0歳児保育の状況

*各年度10月1日現在(人・%)

	H20		H21		H22		H23		H24	
	入所者	入所率	入所者	入所率	入所者	入所率	入所者	入所率	入所者	入所率
いまいずみ保育園	5	5.0	9	9.0	7	7.0	11	11.0	6	6.0
いりふね保育園	—	—	—	—	—	—	(1)	(2.0)	(1)	(2.0)
おおつか保育園	4	6.7	5	8.3	7	11.7	5	8.3	5	8.3
はこのもり保育園	6	4.6	12	9.2	14	10.8	13	10.0	9	6.9
そのべ保育園	—	—	—	—	(3)	(5.0)	(1)	(1.6)	(2)	(3.3)
ぬまわだ保育園	2	3.4	0	0	(1)	(1.7)	(2)	(3.3)	(3)	(5.0)
大平西保育園	3	5.0	5	8.3	9	15.0	7	11.6	2	3.3
大平南第1保育園	8	16	6	12.0	6	12.0	4	8.0	5	10.0
大平南第2保育園	4	11.4	3	8.6	6	17.1	3	8.5	2	5.7
大平東保育園	3	7.5	4	10.0	6	15.0	4	10.0	5	12.5
三鴨保育園	0	—	0	—	3	6.7	1	2.0	2	4.4
赤麻保育園	1	2.2	2	4.4	2	4.4	1	2.2	1	2.2
部屋保育園	0	—	2	3.3	1	1.7	2	3.3	1	1.6
藤岡保育園	0	—	3	5.0	1	1.7	4	6.6	4	6.6
都賀よつば保育園	8	6.7	7	5.8	6	5.0	7	5.8	5	4.2
認定西方 なかよしこども園	5	5.6	5	5.6	3	3.3	1	1.1	3	3.3
公立保育所計	49		63		71		67		56	
さくら保育園	6	2.7	9	4.1	17	7.2	14	5.9	8	3.4
さくら第2保育園	14	31.1	16	35.6	10	25.0	9	22.5	9	22.5
ひがしのもり保育園	3	5.0	3	5.0	5	8.3	4	6.6	5	8.3
けやき保育園	10	6.7	9	6.0	14	9.3	11	7.3	15	10.0
大平中央保育園	7	7.8	4	4.4	7	7.8	9	10.0	10	11.1
ひかり保育園	11	12.2	5	5.6	9	10.0	10	11.1	10	11.1
私立保育所計	51		46		62		57		57	
合計	100		109		133		124		113	

4 特別支援保育の状況

*各年度 10月1日現在(人・%)

	H20		H21		H22		H23		H24	
	入所者	入所率								
いまいずみ保育園	5	5.0	5	5.0	4	4.0	2	2.0	2	2.0
いりふね保育園	3	6.7	3	6.7	1	2.2	1	2.2	2	4.4
おおつか保育園	3	5.0	4	6.7	2	3.3	2	3.3	1	1.7
はこのもり保育園	3	2.3	6	4.6	4	3.0	5	3.8	5	3.8
そのべ保育園	4	6.7	3	5.0	2	3.3	2	3.3	3	5.0
ぬまわだ保育園	4	6.7	3	5.0	3	5.0	2	3.3	2	3.3
大平西保育園	2	3.3	1	1.7	1	1.7	2	3.3	3	5.0
大平南第1保育園	2	4.0	1	2.0	0	-	2	4.0	2	4.0
大平南第2保育園	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
大平東保育園	0	-	0	-	0	-	0	-	2	5.0
三鴨保育園	0	-	0	-	0	-	1	2.2	1	2.2
赤麻保育園	0	-	0	-	0	-	0	-	1	2.2
部屋保育園	0	-	0	-	0	-	1	1.6	4	6.6
藤岡保育園	0	-	0	-	0	-	1	1.6	2	3.3
都賀よつば保育園	1	0.8	2	1.7	2	1.7	2	1.6	1	0.8
認定西方 なかよしこども園	2	2.2	0	-	0	-	0	-	1	1.1
公立保育所計	29		28		19		23		32	
さくら保育園	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
さくら第2保育園	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
ひがしのもり保育園	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
けやき保育園	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
大平中央保育園	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
ひかり保育園	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
私立保育所計	0									
合計	29		28		19		23		32	

5 保育所別入所者の状況

*各年度 10月1日現在(人・%)

	H20		H21		H22		H23		H24	
	入所者	入所率								
いまいずみ保育園	111	111.0	113	113.0	121	121.0	119	119.0	119	119.0
いりふね保育園	42	93.4	42	93.4	47	104.4	47	104.4	46	102.3
おおつか保育園	71	118.4	69	115.0	71	118.3	72	120.0	68	113.4
はこのもり保育園	134	103.1	132	101.6	142	109.2	156	120.0	147	113.1
そのべ保育園	55	91.6	55	91.6	59	98.3	65	108.3	62	103.3
ぬまわだ保育園	56	93.4	55	91.7	59	98.3	59	98.3	66	110.0
大平西保育園	62	103.3	67	111.7	78	130.0	71	118.3	70	116.7
大平南第1保育園	46	92.0	46	92.0	55	110.0	56	112.0	57	114.0
大平南第2保育園	39	111.4	35	100.0	38	108.6	39	111.4	36	102.9
大平東保育園	44	110.0	41	102.5	44	110.0	43	107.5	44	110.0
三鴨保育園	34	75.6	30	66.7	30	66.7	26	57.8	26	57.8
赤麻保育園	36	80.0	38	84.4	27	60.0	26	57.8	29	64.5
部屋保育園	43	71.7	49	81.7	47	78.3	44	73.3	33	55.0
藤岡保育園	44	73.3	44	73.3	49	81.7	46	76.7	46	76.7
都賀よつば保育園	143	119.2	142	118.3	132	110.0	135	112.5	131	109.2
認定西方 なかよしこども園	86	95.6	86	95.6	88	97.8	93	103.3	86	95.6
公立保育所計	1046	98.7	1044	98.5	1087	102.5	1097	103.5	1066	100.6
さくら保育園	250	113.7	242	110.0	271	115.3	291	123.8	285	121.3
さくら第2保育園	52	115.6	56	124.5	48	120.0	47	117.5	48	120.0
ひがしのもり保育園	70	116.7	73	121.7	77	128.3	71	118.3	72	120.0
けやき保育園	107	71.4	137	91.4	149	99.3	157	104.7	169	112.7
大平中央保育園	105	116.7	107	118.9	103	114.4	109	121.1	104	115.6
ひかり保育園	89	98.9	85	94.4	91	101.1	84	93.3	85	94.5
私立保育所計	673	102.7	700	106.9	739	111.1	759	114.1	763	114.7
合計	1719	100.2	1744	101.7	1826	105.9	1856	107.6	1829	106.0

第3章 各地域の状況

1 栃木地域

(1)各公立保育所の状況

いまいずみ保育園は入園希望の申込みが比較的多い施設です。耐震調査の結果、耐震性ありとの診断が出ていますが、建築後30年が経過しており、修繕などの維持補修に費用がかかっています。また、敷地は借地であり、駐車場も不足しています。

いりふね保育園は、建築後50年が経過しており、公立保育園の中で最も古い施設です。また保育園の敷地も狭く、0歳児預かりのための施設整備が出来ず、駐車場もありません。敷地の拡大余地はなく、現地での建替えは難しい状況です。

おおつか保育園は建築後44年が経過しており老朽化も進んでいますが、平成23年度耐震補強工事を実施するとともに、改修工事、調理室の拡張工事が実施されました。

はこのもり保育園は、築10年と栃木地域では一番新しい施設で入園希望も多くありますが、複合施設として整備されており、他の施設の利用者との調整する際に、安全性の確保が必要となります。

そのべ保育園は、建築後36年を経過しており、周辺の道路は狭く、駐車場の確保も難しいため、園児の送迎時には、混雑が激しく非常に危険な状態です。また、耐震診断において耐震補強工事の必要性が認められており、早急な対応が必要となっています。さらに、敷地を賃借しており、平成25年3月31日で土地賃貸借期限が満了となります。

ぬまわだ保育園は、建築後36年を経過しており、交通量の多いT字路に面しているため園児の送迎において交通安全上問題があります。保育園北側に県南児童相談所が、南側には民家があり、敷地の拡大は難しい状況です。

(2)旧栃木市での保育所整備の検討状況

いりふね、そのべ、ぬまわだの3園は、いずれも老朽化が進み、敷地も狭く運営に支障があるため、市街地に新たな敷地を選定した上で、3園を統合した保育所の整備が必要であるとしていました。

2 大平地域

(1)各公立保育所の状況

大平西保育園は、県内初の木造2階建として、平成21年に新築されました。施設としては最新の機能を備えています。

大平南第1保育園は、児童館と支援センターに隣接した施設です。建築後16年と比較的新しい施設ですが、敷地は狭く、定員が50名となっています。南側は宅地開発が進み東側は農地となっています。

大平南第2保育園は、建築後33年の老朽化した施設です。敷地は、永野川沿いに位置し、警報発令があると避難する必要があります。定員も35名で年齢別保育が困難です。

大平東保育園は、建築後36年と大平地域では最も老朽化が進んでいる施設です。敷地が狭く定員40名となっています。

(2)旧大平町での保育所整備の検討状況

大平東・大平南第2を統合する検討がなされていましたが、賛否両論がありました。

3 藤岡地域

(1) 各公立保育所の状況

藤岡地域には民間の保育所はなく、三鴨保育園、赤麻保育園、部屋保育園、藤岡保育園の4園の公立保育所がありますが、4園はいずれも耐震調査の結果、耐震性に問題があり、補強工事が必要とされています。藤岡地域の施設は、市内他の地域の施設に比較した場合、全体的に敷地、駐車場ともに広く、すべて市有地となっています。また、すべての施設に、バスが1台ずつ配備され、送迎を実施していますが、市内で公立保育所における無料送迎は藤岡地域だけであり、今後、検討する必要があります。なお、給食はすべて給食センターで調理しており、調理室等の整備が求められています。

藤岡地域では、定員を満たしている施設はなく、また、将来的に増員を見込むことは難しく、次世代の計画の基礎資料となる目標数値では、63名の定員を減とする必要があります。

(2) 旧藤岡町での保育所整備の検討状況

3園を民営1保育所に統合し、残る1園は公立で存続する検討がされていました。また、大前地区の区画整理地内に保留地があり、保育所整備の活用も検討されたことがあります。

4 都賀地域

平成13年に公立の4保育所を統合し新築した、都賀よつば保育園の1園がありますが、敷地も広く、施設としての問題はほとんどみられません。

都賀よつば保育園の入所者は常に定員を上回っており、更に、次世代の計画では21名の定員増が必要とされています。また、栃木地域の施設への通園も多い地域です。

5 西方地域

平成12年度から1つの幼稚園と2つの保育所の3施設を合築し、「西方なかよし子ども園」として運営を始めました。幼稚園と保育所の連携を図り、0歳児の乳幼児保育から3歳児より始まる幼児教育へと緩やかに進展する「幼・保の一体的な運営」を経営の基本理念としています。平成19年4月から幼保連携型の認定こども園として、幼稚園教育要領及び保育所保育指針に基づいた教育・保育を一体的に行っています。

第4章 課題の整理と保育所整備の基本的な考え方

1 課題の整理

(1) 新市としての取り組み

保育所整備に関しては、合併前のそれぞれの旧市町の検討を参考に、地域特性や地域バランス、市民の要望等を踏まえた新市としての対応を考えていく必要があります。

(2) 多様化する保育ニーズへの対応

保育需要は依然として高く、次世代育成支援対策行動計画における今後の人口推計とアンケート調査から計算した推計保育ニーズ量では、平成26年度のニーズ量は1,920人となっており、現在の保育定員を195名上回ることになります。

また、最近の社会状況の変化に伴い0歳児保育の入所希望数が増加していますが、いくつ

かの公立保育所では施設上の理由から0歳児保育が実施できず、定員に満たない園があるにもかかわらず0歳児保育の待機児童がいる状況にあります。

また、少子化や核家族化の進行により、ライフスタイルや就労形態が多様化しており、それに合わせて、休日保育や延長を保育の更なる時間延長などの保育ニーズも多様化しています。これらの保育ニーズに的確に対応していく必要があります。

(3) 公立保育所の老朽化による耐震の必要性

建築後30年を越える公立施設が栃木地域で4箇所、大平地域で2箇所、藤岡地域で4箇所の計10箇所あり、老朽化が進んでいます。このため安全な保育や多様な保育ニーズへの対応が難しくなっています。

また、老朽化に伴う建物の耐震については、その多くが耐震性において問題があり、早急な対応が求められています。

さらに、敷地を賃借している公立保育所が栃木地域に3箇所あり、賃借料の見直しが全庁的に求められる中、今後の検討課題となっています。

なお、公立保育所整備への国等の補助がなくなり、複数の公立保育所を作るためには厳しい財政状況を踏まえた検討が必要です。

(4) 公・民の役割分担と民間保育所の指導監督方針の設定

複雑多様化する市民の保育ニーズに対応するために、市民が選択できる保育体制を整えるために、公・民、それぞれの特長を生かした役割分担を行い、保育環境整備を進めていくことが必要です。保育所の民営化を進めていく上では、市としての指導監督方法のあり方を確実に推進していく必要があります。

2 保育所整備の基本的な考え方

現状や課題を踏まえて、今後の保育所整備に対する基本的な考え方を整理します。

(1) 老朽化している公立保育所の統廃合

子ども達の安全性の確保、地域間のバランス、保育内容の充実、更には財政的な視点などから、必要な公立保育所の統廃合を検討し実施していきます。

(2) 民間活力の導入

意欲と保育の質を確保・維持できる能力を持った民間事業者の特徴ある保育所運営は、市民の選択肢を広げる上で、また、市の財政面からも有効であると思われますので、公平性・透明性を確保しつつ、高い能力を持つ事業者を選定できる仕組みを構築した上で、民間参入を進めていきます。

また、民間参入の一つの方策として、認定子ども園の設置についても積極的に進めていきます。認定子ども園は平成18年に制度化されましたが、平成27年からスタートする新しい子ども子育て支援制度において改正拡充されます。設置主体となることができる私立幼稚園の持っているノウハウを活かし子育て家庭の保育と教育のニーズに対応した「認定子ども園」の設置を進めていきます。

※認定こども園とは

幼稚園、保育所等のうち、認定基準（①就学前の子どもに幼児教育、保育を提供する機能、②地域における子育て支援を行う機能）を満たす施設で、知事から「認定こども園」の認定を受けたもの。

※幼保連携型認定こども園とは

認定こども園の内、認可幼稚園と認可保育所とが連携して、一体的な運営を行うタイプのもの。

（３）多様化する市民ニーズへの対応

特別支援保育、夜間や延長、休日保育、病児・病後児保育など、これまでの通常保育だけでは対応できない保育サービスが求められていることから、保育士の配置や勤務条件など、ハード整備と併せたソフト整備も進めていきます。

第5章 公立保育所と民間保育所の役割

公立保育所は、民間が運営する保育所に比べ、利用者のニーズに迅速に対応できない面もありますが、本市の福祉理念に基づき、児童福祉施設として他の行政機関との連携により、障がい児や家庭的に支援を要する児童などへの対応をよりの確に行うことができます。

一方、民間保育所は、柔軟な人的、物的資源を取り入れ、一時保育や延長保育、休日保育など様々な特別保育を実施しており、多様な保育ニーズに対応することができます。

公立保育所・民間保育所の特徴を踏まえた上で、それぞれの特色を生かした通常保育を実施するとともに、それ以外の保育サービスについてはそれぞれの役割の原則を定め、公立保育所と民間保育所をバランスよく配置し、市全体の保育所整備を進めます。

また、平成25年度から、保育所に対する指導監査の権限が市に移譲されることから、民間保育所に対して適切な指導等を行い、質の高い保育の維持・確保に努めていきます。

1 公立保育所の役割

特に配慮の必要な子ども達を対象とした特別支援保育や、家庭における養育力の低下等に伴う保育困難ケースへの対応をはじめ、地域における子育て力の向上を図るための子育て家庭への支援、民間保育所職員の研修機能や、保育所連携による事業の実施や発信・調整など、基幹的保育園としての役割を果たします。

2 民間保育所の役割

増大する保育需要への対応はもとより、多様な保育ニーズに迅速かつ柔軟な対応を図るため、延長保育や一時保育、休日保育、病児・病後児保育などを事業の柱として実施する他、公立保育所と連携し、保育の質の向上に努めていくこととします。

第6章 保育所整備方針・整備計画

1 整備の方向性

栃木市次世代育成支援対策行動計画における今後の人口推計とアンケート調査から計算した推計保育ニーズ量から目標値を設定した上で、先に述べた「保育所整備の基本的な考え方」に基づき整備を進めます。

また、子どもの安全性や良好な保育環境の早期の確保、合併後の地域間バランスに配慮し、本計画の期間を5年間と定め、その間に予定された保育所の整備を確実に進めていきます。

2 目標量の設定

保育所への入所希望者は年々増加していますが、定員の弾力的な運用の範囲内で児童の受け入れに努めることにより、近年は待機児童なしの状況となっています

しかしながら、栃木市次世代育成支援対策行動計画における今後の人口推計とアンケート調査から計算した推計保育ニーズ量では、平成26年度のニーズ量は1,920人となっており、少子化により乳幼児人口は減少するものの、社会状況の変化に伴い、入所希望者は増加していくことが予想されます。

通常保育については、この1,920人を定員の目標量に設定しますが、現状を踏まえると十分な定員が確保できると思料できることから、各保育所の整備後は、定員の120%まで入所させることができるいわゆる定員の弾力化については、原則適用しないこととします。

(1) 通常保育の目標事業量

	平成22年度の 保育定員数 ①	平成23年度の 入所状況	平成26年度の 保育需要量 ②	必要な保育 サービス量 ② - ①
栃木地域	940名	1,084名	1,110名	170名
大平地域	365名	402名	427名	62名
藤岡地域	210名	142名	147名	△63名
都賀地域	120名	135名	141名	21名
西方地域	90名	93名	95名	5名
合計	1,725名	1,856名	1,920名	195名

(2) その他の保育サービス目標事業量

		現状(H22)	平成26年度
延長保育事業	利用者数	259人	963人
夜間保育	利用者数	—	30人
休日保育	利用者数	12人	24人
病児・病後児保育	病児・病後児対応型 実施保育園数	1箇所	2箇所
	体調不良児対応型 実施保育園数	1箇所	2箇所
一時預かり事業	実施保育園数	7箇所	10箇所

3 保育所整備計画

番号	保育所等	基本方針等	設置・運営形態	定数の動向 現状 1725 名 目標 1920 名
①	いりふね保育園 そのべ保育園	I 方針：旧栃木中央小学校を利用し統合 ※利活用検討の場に提案していく II 定員：110名（現定員 105名）	公設公営	+5名 1730名
②	ぬまわだ保育園 大平東保育園	I 方針：栃木駅南部地域において統合し 医療との連携を特長とした保育 所として民営化する ※0歳児（2月から）保育 ※病児、病後児保育 } 注1 II 定員：110名（現定員 100名）	民営化 民設民営	+10名 1740名
③	赤麻保育園 部屋保育園 藤岡保育園 三鴨保育園	I 方針：1園に統合 II 定員：110名（現定員 210名）	公設公営	-100名 1640名
④	新設保育所 1 注2	I 方針：栃木地域北部から都賀地域の 範囲内に民間保育園を新設 II 定員：110名	民設民営	+110名 1750名
⑤	新設保育所 2 （認定こども園）	I 方針：幼保連携型（幼稚園が認可保育 所を設置する）「認定こども園」 の新設 II 定員：170名（4園～5園）	民設民営	+170名 1920名
⑥	いまいずみ保育園	I 方針：当面現状維持 II 定員：100名		
⑦	おおつか保育園	I 方針：当面現状維持 II 定員：60名	耐震補強工事 実施	
⑧	はこのもり保育園	I 方針：当面現状維持 II 定員：130名		
⑨	大平西保育園	I 方針：当面現状維持 II 定員：60名		
⑩	大平南第1保育園	I 方針：当面現状維持 II 定員：50名		
⑪	大平南第2保育園	I 方針：当面現状維持（将来はぬまわだ・ 大平東統合保育園又は、大平南第1保育 園との統合を検討） II 定員：35名		
⑫	都賀よつば保育園	I 方針：当面現状維持 II 定員：120名		
⑬	西方なかよし こども園	I 方針：当面現状維持 II 定員：90名		

注1：2か月からの0歳児や、病児・病後児を積極的に受け入れるということではなく、子育てと仕事の両立を支援するため、必要な方には対応できる体制を整えるということです。

注2：④の新設保育園1の整備方針が含まれている巻末の資料「保育所整備計画」に基づく整備順位と基本方針における第2期計画については、今後設置する「子ども・子育て会議」において関係者の意見を踏まえ再検討していきます。

資料

保育所整備計画に基づく整備順位と基本方針

第1期計画

順位	内容	現状及び課題	基本方針	整備目標
1	赤麻保育園 部屋保育園 藤岡保育園 三鴨保育園 の統合	<ul style="list-style-type: none"> ・4園とも老朽化している (耐震診断の結果：耐震工事必要) ・4園とも定員に満たない 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 4園の統合 (2) 場所は、既存の保育園の敷地も含め検討し、子どもの安全が確保できる場所を選定します。 (3) 公設公営 (4) 定員 110名 (5) 小人数クラス編成 	<p>早期の開設を目指し、平成24年度より地元説明を行う。</p> <p>【目標】 平成27年 4月1日開設</p>
2	ぬまわだ保育園 大平東保育園 の統合	<ul style="list-style-type: none"> ・2園とも老朽化 (耐震診断の結果：耐震工事必要) ・医療との連携保育所の必要性の高まり 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 2園の統合 (2) 場所は栃木駅南部 (3) 民営化 <ul style="list-style-type: none"> ・医療との連携 ・病児・病後児保育の実施 ・0歳児保育(2か月から)の実施 (4) 定員 110名 (5) 小人数クラス編成 	<p>平成25年度中に公募が実施できるよう準備を進める。</p> <p>【目標】 平成27年 4月1日開設</p>
	新設保育所2 (認定こども園) の募集	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい子ども・子育て支援事業における「認定こども園」制度の改正・拡充が予定されている。(新制度) ・新制度の実施(平成27年度)を踏まえ、旧制度のうちから「認定こども園」の認可を取りたいとする幼稚園事業者からの要望が高まっている。 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 平成24年度中に幼稚園事業者への、「認定こども園」の設置希望調査 (2) 調査に基づき募集の方法について検討 (3) 第1期計画では2~3園の設置を想定(約100名) 	<p>現状等を踏まえ、25年度中に募集ができる体制を整える。</p> <p>【目標】 事業者が設定するスケジュールに基づき設置 26年度中の開設を想定</p>

以下に示す第2期計画については、今後設置する「子ども・子育て会議」において関係者の意見を踏まえ再検討していきます。

第2期計画

順位	内容	現状及び課題	基本方針	整備目標
1	いりふね保育園 そのべ保育園 の統合	<ul style="list-style-type: none"> ・2園とも老朽化（耐震診断の結果：耐震工事必要） ・旧栃木中央小の利活用検討との整合 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 旧栃木中央小の建物、敷地を活用 (2) 公設公営 (3) 定員 110 名 (4) 小人数クラス編成 	<p>旧栃木中央小の利活用検討を踏まえながら、早期の開設を目指す。</p> <p>【目標】 平成 28 年 4 月 1 日開設</p>
2	新設保育所 1 の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・栃木地域北部から都賀地域の範囲内に民間保育園を新設 <p>理由①保育園の設置場所の地域バランスに配慮 ②栃木市北部地域における住宅開発の動向</p>	<ul style="list-style-type: none"> (1) 公募による民間保育所の新設 (2) 延長保育、休日保育、夜間保育の実施 (3) 定員 110 名 (4) 地域間バランスと今後の需要を踏まえた保育所の新設 	<p>平成 26 年度中に公募が実施できるよう準備を進める。</p> <p>【目標】 平成 28 年 4 月 1 日開設</p>
	新設保育所 2 (認定こども園) の募集	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい子ども・子育て支援事業における「認定こども園」制度の改正・拡充が予定されている。(新制度) ・新制度の実施(平成 27 年度)を踏まえ、旧制度のうちから「認定こども園」の認可を取りたいとする幼稚園事業者からの要望が高まっている。 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 幼稚園事業者の、「認定こども園」の設置希望を第1期計画に引き続き調査 (2) 調査に基づき募集の方法について検討 (3) 第2期計画では1~2園の設置を想定(約70名) 	<p>第1期計画における認定こども園の設置状況を踏まえた募集体制を整える。</p> <p>【目標】 事業者が設定するスケジュールを参考に、第1期計画における認定こども園の設置状況を踏まえ設置していく。</p>